



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 エスアールジータカミヤ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2445 URL <http://www.srg.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高宮 一雅

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 辰見 知哉

TEL 06-6375-3918

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,605	14.0	1,163	145.6	1,172	169.0	644	222.7
25年3月期第2四半期	12,812	17.5	473	65.0	436	277.3	199	37.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 912百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 57百万円 (△9.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	29.69	28.75
25年3月期第2四半期	9.32	9.16

当社は、平成25年2月21日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	35,335	8,541	23.5	372.59
25年3月期	33,987	7,110	20.4	324.08

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 8,312百万円 25年3月期 6,947百万円

当社は、平成25年2月21日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成25年11月8日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当社は、平成25年2月21日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成25年3月期については当該株式分割前の金額を記載しております。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,300	11.3	2,630	63.8	2,600	67.4	1,550	92.0	70.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年11月8日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	22,312,000 株	25年3月期	22,312,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,814 株	25年3月期	875,214 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	21,721,461 株	25年3月期2Q	21,437,123 株

当社は、平成25年2月21日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成25年11月19日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算補足説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権に対する期待感から消費マインドも改善し、また、円安の持続と輸出の増加により景況感は緩やかに回復しつつあります。当社グループに関連する業界では、東北地方における復旧・復興工事、首都圏を中心とした再開発工事、消費税増税前の駆け込み需要による住宅着工棟数の増加、太陽光発電市場の拡大等を背景に、販売・レンタルともに好調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が14,605,070千円（前年同四半期比14.0%増）、営業利益が1,163,820千円（前年同四半期比145.6%増）、経常利益が1,172,945千円（前年同四半期比169.0%増）、税金等調整前四半期純利益が1,165,485千円（前年同四半期比183.7%増）となり、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額、少数株主利益の合計520,533千円を差し引きした結果、四半期純利益が644,951千円（前年同四半期比222.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①販売事業

建設関連におきましては、社会インフラ等の維持補修工事と復旧・復興工事による需要の高まりを背景に、足場部材であるクランプ及びクサビ式住宅用足場の販売が、前期に引続き好調に推移いたしました。

環境関連におきましては、太陽光発電システムの需要は高く、住宅用・産業用共に、太陽光パネル架台の販売が順調に推移いたしました。特に産業用については、通信・自動車など幅広い業種からの新規参入により、全国各地でメガソーラー発電所の建設が進められており、この需要の高まりを背景に、太陽光パネル架台の販売売上が大きく増加いたしました。また、消費税増税前の駆け込み需要による住宅着工棟数の増加と、消費者の制震に対するニーズの高まりを背景に、住宅用制震装置の販売売上也順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は7,630,081千円（前年同四半期比32.7%増）、営業利益1,040,498千円（前年同四半期比77.2%増）となりました。

#### ②レンタル事業

建設関連におきましては、人手不足による工事着工の遅れ等の懸念材料はあるものの、学校関係の耐震補強工事、首都圏を中心とした再開発工事、東北地方の復旧・復興工事などによる全国的な需要の増加に対して、施工性・安全性を追求した仮設機材と工事サービスの提案により受注拡大に努めてまいりました。土木・橋梁用の仮設機材の出荷は立ち遅れがあったものの、建築用仮設機材は順調に出荷いたしました。この結果、建設関連の売上高は前期並みに推移しております。

環境関連におきましては、維持補修工事分野において、かねてより取り揃えてまいりました移動昇降式足場（リフトクライマー）の出荷が、超高層マンションの大規模修繕工事を中心に堅調に推移しております。

また、収益力の強化として、グループ資産の効率的な管理・運用を推進し、販売管理費の削減を実現いたしました。

これらの結果、売上高は7,955,651千円（前年同四半期比1.2%増）、営業利益611,680千円（前年同四半期比49.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、35,335,547千円となり、前連結会計年度末と比べ1,347,648千円増加いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少738,814千円、商品及び製品の増加293,422千円、仕掛品の増加158,870千円、原材料及び貯蔵品の増加192,753千円、流動資産その他の増加1,207,913千円、投資有価証券の増加272,754千円等によるものであります。

負債合計は、26,793,720千円となり、前連結会計年度末と比べ84,093千円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加214,981千円、短期借入金の増加337,442千円、1年内償還予定の社債の減少153,200千円、1年内返済予定の長期借入金の減少263,963千円、流動負債その他の増加233,582千円、社債の減少170,000千円、長期借入金の減少249,215千円等によるものであります。

純資産合計は、8,541,827千円となり、前連結会計年度末と比べ1,431,742千円増加いたしました。この主な要因は、資本剰余金の増加447,154千円、利益剰余金の増加430,584千円、自己株式の減少223,616千円、その他有価証券評価差額金の増加223,344千円等によるものであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,152,492千円の収入（前年同四半期は367,124千円の収入）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,165,485千円、減価償却費1,673,729千円等があったものの、賃貸資産の取得による支出637,841千円、たな卸資産の増加額1,136,996千円等があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、904,918千円の支出（前年同四半期は270,901千円の支出）となりました。主な要因は、貸付けによる支出450,000千円、関係会社出資金の払込による支出329,894千円等があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、189,505千円の支出（前年同四半期は535,836千円の支出）となりました。主な要因は、長期借入れによる収入2,112,500千円、自己株式の処分による収入630,125千円等があったものの、長期借入金の返済による支出2,626,286千円、社債の償還による支出323,200千円等があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、当第2四半期累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、当初予想を上回る見通しであることから、平成25年8月9日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成25年11月8日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,521,562	3,565,329
受取手形及び売掛金	7,528,689	6,789,874
商品及び製品	1,389,133	1,682,556
仕掛品	378,489	537,360
原材料及び貯蔵品	504,440	697,193
繰延税金資産	196,036	172,725
その他	322,535	1,530,448
貸倒引当金	△115,657	△109,686
流動資産合計	13,725,229	14,865,801
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	26,303,891	26,825,510
減価償却累計額	△14,984,707	△15,780,812
貸貸資産(純額)	11,319,184	11,044,697
建物及び構築物		
建物及び構築物	3,665,668	3,751,128
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,981,635	△2,080,077
建物及び構築物(純額)	1,684,033	1,671,050
機械装置及び運搬具		
機械装置及び運搬具	587,152	642,099
減価償却累計額	△396,314	△432,147
機械装置及び運搬具(純額)	190,838	209,952
土地		
土地	3,896,199	3,921,858
リース資産		
リース資産	859,892	939,823
減価償却累計額	△451,596	△524,684
リース資産(純額)	408,296	415,138
建設仮勘定	70,328	19,878
その他	491,685	510,213
減価償却累計額	△353,465	△373,934
その他(純額)	138,220	136,278
有形固定資産合計	17,707,100	17,418,854
無形固定資産		
借地権	392,472	392,472
のれん	49,771	38,515
リース資産	106,122	123,725
その他	234,262	207,234
無形固定資産合計	782,629	761,947
投資その他の資産		
投資有価証券	809,161	1,081,916
差入保証金	329,911	330,386
会員権	66,879	43,879
繰延税金資産	164,594	107,509
その他	642,611	890,627
貸倒引当金	△240,217	△165,374
投資その他の資産合計	1,772,939	2,288,943
固定資産合計	20,262,669	20,469,745
資産合計	33,987,898	35,335,547

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	4,939,872	5,154,853
短期借入金	416,887	754,330
1年内償還予定の社債	611,600	458,400
1年内返済予定の長期借入金	5,589,701	5,325,737
リース債務	162,546	177,973
未払法人税等	573,932	501,891
繰延税金負債	—	1,911
賞与引当金	169,828	192,901
役員賞与引当金	10,235	—
設備関係支払手形	111,220	164,783
その他	1,531,909	1,765,491
流動負債合計	14,117,734	14,498,274
<b>固定負債</b>		
社債	1,150,000	980,000
長期借入金	9,637,642	9,388,426
リース債務	388,180	416,030
繰延税金負債	50,946	59,203
退職給付引当金	537,258	565,912
役員退職慰労引当金	33,355	34,165
資産除去債務	12,746	12,902
その他	949,948	838,803
固定負債合計	12,760,079	12,295,445
負債合計	26,877,813	26,793,720
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	679,750	679,750
資本剰余金	717,750	1,164,904
利益剰余金	5,582,829	6,013,413
自己株式	△224,080	△464
株主資本合計	6,756,248	7,857,603
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	143,113	366,457
繰延ヘッジ損益	△15,697	△11,438
為替換算調整勘定	63,478	100,029
その他の包括利益累計額合計	190,894	455,048
新株予約権	62,061	125,293
少数株主持分	100,880	103,881
純資産合計	7,110,085	8,541,827
負債純資産合計	33,987,898	35,335,547

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	12,812,763	14,605,070
売上原価	9,044,231	10,109,563
売上総利益	3,768,531	4,495,507
販売費及び一般管理費	3,294,650	3,331,686
営業利益	473,880	1,163,820
営業外収益		
受取利息	2,996	3,906
受取配当金	8,765	11,479
受取賃貸料	32,974	34,647
賃貸資産受入益	24,234	24,953
スクラップ売却収入	25,522	53,759
持分法による投資利益	—	6,289
デリバティブ評価益	—	31,069
貸倒引当金戻入額	1,589	4,000
その他	51,224	52,264
営業外収益合計	147,308	222,368
営業外費用		
支払利息	129,994	122,701
支払手数料	26,291	25,345
株式交付費	—	40,645
デリバティブ評価損	9,646	—
その他	19,163	24,551
営業外費用合計	185,095	213,244
経常利益	436,093	1,172,945
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,220
特別利益合計	—	3,220
特別損失		
固定資産売却損	1,665	5,596
固定資産除却損	2,837	5,083
投資有価証券評価損	20,776	—
特別損失合計	25,278	10,680
税金等調整前四半期純利益	410,814	1,165,485
法人税、住民税及び事業税	226,616	520,675
法人税等調整額	△23,205	△3,159
法人税等合計	203,411	517,516
少数株主損益調整前四半期純利益	207,403	647,969
少数株主利益	7,535	3,017
四半期純利益	199,868	644,951



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	207,403	647,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△115,077	223,327
繰延ヘッジ損益	△12,025	4,258
為替換算調整勘定	△22,715	36,551
その他の包括利益合計	△149,818	264,137
四半期包括利益	57,585	912,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,062	909,106
少数株主に係る四半期包括利益	7,523	3,000

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	410,814	1,165,485
減価償却費	1,614,511	1,673,729
のれん償却額	18,388	11,256
貸貸資産除却に伴う原価振替額	158,204	109,715
貸貸資産売却に伴う原価振替額	199,727	51,674
貸貸資産の取得による支出	△1,070,101	△637,841
貸貸資産受入益	△24,234	△24,953
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11,266	△83,340
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,064	23,072
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,302	△10,235
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16,226	27,208
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,890	810
株式報酬費用	41,379	63,232
受取利息及び受取配当金	△11,761	△15,385
支払利息	129,994	122,701
有形固定資産除却損	2,837	5,080
無形固定資産除却損	—	3
投資有価証券評価損益 (△は益)	20,776	—
持分法による投資損益 (△は益)	—	△6,289
デリバティブ評価損益 (△は益)	9,646	△31,069
売上債権の増減額 (△は増加)	△197,655	846,523
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△690,739	△1,136,996
前渡金の増減額 (△は増加)	△122,566	△628,065
仕入債務の増減額 (△は減少)	491,868	56,083
前受金の増減額 (△は減少)	129,013	442,741
その他	8,353	△164,952
小計	1,118,287	1,860,187
利息及び配当金の受取額	11,457	15,062
利息の支払額	△133,071	△129,842
法人税等の支払額	△629,549	△592,914
営業活動によるキャッシュ・フロー	367,124	1,152,492

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△111,075	△109,800
定期預金の払戻による収入	107,200	115,230
有形固定資産の取得による支出	△186,657	△201,565
有形固定資産の売却による収入	5,330	1,928
無形固定資産の取得による支出	△4,809	△9,553
投資有価証券の取得による支出	△45,935	△1,993
投資有価証券の売却による収入	19,185	48,300
関係会社出資金の払込による支出	△38,610	△329,894
貸付けによる支出	△22,230	△450,000
貸付金の回収による収入	6,700	32,430
投資活動によるキャッシュ・フロー	△270,901	△904,918
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△275,156	324,911
リース債務の返済による支出	△78,489	△92,270
長期借入れによる収入	2,705,000	2,112,500
長期借入金の返済による支出	△2,399,145	△2,626,286
社債の償還による支出	△273,200	△323,200
自己株式の取得による支出	△78	—
自己株式の処分による収入	—	630,125
配当金の支払額	△214,766	△215,285
財務活動によるキャッシュ・フロー	△535,836	△189,505
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,982	△9,076
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△455,596	48,992
現金及び現金同等物の期首残高	3,100,614	3,076,771
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,645,017	3,125,763

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年7月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の処分及びオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関する第三者割当による自己株式の処分を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が447,154千円増加、自己株式が223,616千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,164,904千円、自己株式が464千円となっております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	販売事業	レンタル事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	5,163,015	7,649,747	12,812,763	—	12,812,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	587,733	208,358	796,091	△796,091	—
計	5,750,749	7,858,105	13,608,854	△796,091	12,812,763
セグメント利益	587,076	409,506	996,582	△522,702	473,880

(注) 1. セグメント利益の調整額△522,702千円には、セグメント間取引消去△64,743千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△457,958千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	販売事業	レンタル事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	6,792,203	7,812,866	14,605,070	—	14,605,070
セグメント間の内部売上高又は振替高	837,878	142,784	980,662	△980,662	—
計	7,630,081	7,955,651	15,585,733	△980,662	14,605,070
セグメント利益	1,040,498	611,680	1,652,178	△488,357	1,163,820

(注) 1. セグメント利益の調整額△488,357千円には、セグメント間取引消去△49,547千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△438,810千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。